

令和7年4月

## 新規受託項目のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

この度、新規項目を登録いたしましたので、ご案内いたします。

弊社におきましてはご要望に幅広くお応えすべく研鑽を重ねてまいりますので  
今後共引き続きお引き立ての程お願い申し上げます。 敬白

\*\*\*\*\* 記 \*\*\*\*\*

### ■新規受託項目

#### 項目コード No.3633 M2BPGi 定量(Mac-2 結合蛋白糖鎖修飾異性体)

	新	旧
項目コードNo.	3633	3632
検査項目名	M2BPGi 定量 (Mac-2 結合蛋白糖鎖修飾異性体)	M2BPGi (Mac-2 結合蛋白糖鎖修飾異性体)
検体量	血清 0.3mL	同左
容器	T1 (汎用容器)	同左
保存方法 (安定性)	冷蔵 (8日)	同左 (2週間)
検査方法	CLEIA	同左
基準範囲	0.84 未満	判定：(-) Cut off index：1.00 未満
単位	AU/mL	判定：なし Cut off index：なし
報告範囲	0.10 未満~20.00 以上	判定：(-)(1+)(2+) Cut off index：0.10 未満~20.00 以上
所要日数	2~4日	同左
検査実施料	194点	同左
判断料	生化学的検査 (I) 144点	同左
備考	—	<u>令和7年5月31日受付分をもって受託 を中止させていただきます。</u>

### ■新旧の比較

裏面を参照ください。

### ■開始期日

令和7年5月1日(木) 受付分より

裏面へ続く

25-0402

## ●M2BPGi(Mac-2 結合蛋白糖鎖修飾異性体)

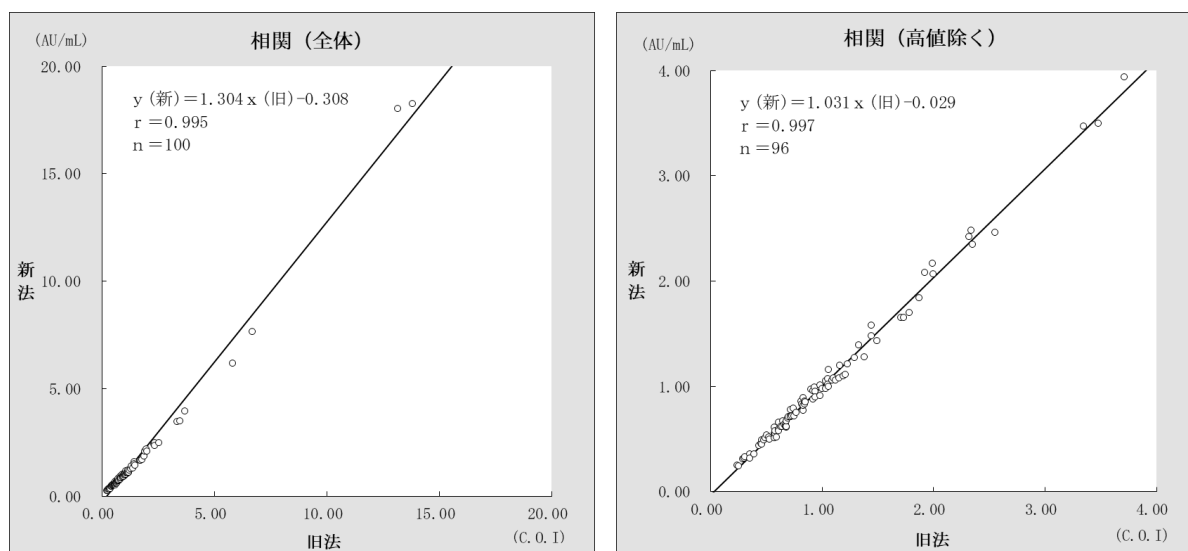
M2BPGi は肝線維化マーカーの一種で、肝臓の線維化ステージを反映するタンパク質の糖鎖構造を捉えることで、肝線維化の進行を評価することが可能です。

現行の M2BPGi 検査はカットオフインデックス (Cut off Index) による半定量検査ですが、このたび現行項目と同一試薬メーカーから M2BPGi 濃度を定量的に測定可能な試薬が販売されましたので、新規受託項目として受託開始いたします。

測定結果を、Cut off Index (陰性(-)、陽性(1+)、陽性(2+)の3分類) から M2BPGi の濃度 (AU/mL) に変更し、肝線維化の進行度の定量的評価が期待されています。

なお、現行項目の Cut off Index 1.00 は新項目の 1.00 AU/mL となるように調整されています。

## ■新旧の比較



(社内検討データ)

## ■参考文献

Uojima H, et al : J Gastroenterol 58 (12) : 1252~1260, 2023.

以上